

研究主題 夢・志を育む教育活動の実践・研究 ～一人一人が大切にされる学級経営を土台として～

議題 「3年1組のハッピーハロウィンを楽しもう」 (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社会を作ろうとする力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てる。

2. 第3学年及び第4学年における評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合っ実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、何事にも一生懸命に取り組むことができ、困っている友だちに対して優しい声がけができています。また、みんなのために自分ができることを考えて、さっさと気づいて行動できている児童もいます。授業の中では、手を挙げて積極的に発言をする児童もいるが、自分の考えを表現することに消極的な児童もいます。そこで、ペアやグループ対話を授業の中でも取り入れながら、自分の考えを相手に伝える活動を行ってきた。そうすることで、少しずつではあるが、友だちに自分の考えを伝え、相手の意見を聞き入れることができるようになってきている。

学級活動については、4月にオリエンテーションを行い、学級目標の「みんなで楽しく、助け合い、最後までがんばる3年1組」になるために、議題を考える時間をとり、やってみたいことなどを考えることができていた。計画委員は輪番制にし、それぞれが役割を持ち、学級会を行ってきた。1学期はクラス替えもあったので、「みんなで仲を深めるための楽しみ会をしよう」や「みんなが毎日楽しく、おもしろい学級になるための係をきめよう」など、クラスのみんなが楽しく過ごすためにできることを考え、実行してきた。計画委員を中心に話し合いを進めようとしているが、なかなかうまく進まず、時間がかかってしまい決められないこともあった。しかし、回を重ねるごとに、時間を意識しながら決めていこうとする姿が見られるようになった。また、国語科の学習で学んだ、「司会者」と「参加者」のそれぞれの役割を考えながら話し合う活動を通して、司会者の進行に沿って話し合うこと、そのためには参加者が意見を出し合うことなどを確認することができた。みんなが発表できるように司会者が投げかけたり、参加者は発表できなくても、友だちの意見に反応したりしながら、議題についてみんなで決めていこうとする姿が見られるようになってきている。

(2) 議題選定

本議題は、「10月31日のハロウィンをもっと楽しみたい」という児童の思いから選定された。相手意識として、「他の学年とも一緒に楽しみたい」、「全校で何かをしてみたい」という思いはあったが、まずは、「3年1組のみんなとやりたい」「自分たちのクラスの仲をもっと深めたい」という思いから、ハロウィンをしようということになった。

(3) 提案理由

提案理由としては、「もうすぐハロウィンだし、クラスでハロウィンをしたことがないので、みんなでするときっと楽しいと思ったから」という意見をもとに、柱1では、「何をするか」について話し合い、柱2では、「ハロウィンにするためのくふう」について、季節の行事をより実感し楽しめるように、話し合いを進めていきたい。

